

動物実験に関する自己点検・評価報告書

(2016 年度)

2017 (平成 29) 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学動物実験等に関する規程 尚絅学院大学動物実験倫理委員会内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に即した機関内規程が適切に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

2. 動物実験倫理委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験倫理委員会が置かれている。 □ 動物実験倫理委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験倫理委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学動物実験等に関する規程 尚絅学院大学動物実験倫理委員会内規 2016年度学務分掌
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に即した動物実験倫理委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>尚綱学院大学動物実験等に関する規程</p> <p>尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規</p> <p>尚綱学院大学における動物実験実施ガイドライン</p> <p>尚綱学院大学における動物実験施設利用の手引 (2014.10.27 改訂)</p> <p>動物実験計画書 (様式 1)</p> <p>動物実験審査結果通知書 (様式 2)</p> <p>動物実験計画(変更・追加)承認申請書 (様式 3)</p> <p>動物実験・教育研修計画審査結果異議申立書 (様式 4)</p> <p>動物実験結果報告書 (様式 5)</p> <p>実験動物飼養保管状況報告書 (様式 6)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>動物愛護の 3R の原則ならびに基本指針に即した実施体制が整っており、動物実験実施ガイドライン、動物実験施設利用の手引はじめ、実験の計画・報告に関する各種様式も整備されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>記載すべき事項なし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>記載すべき事項なし。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>記載すべき事項なし。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>記載すべき事項なし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p>
--

<p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>尚綱学院大学動物実験等に関する規程</p> <p>尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規</p> <p>尚綱学院大学における動物実験実施ガイドライン</p> <p>尚綱学院大学における動物実験施設利用の手引 (2014.10.27 改訂)</p> <p>尚綱学院大学における実験動物の飼育管理に伴う創傷、疾病の発生予防マニュアル (2014.10.27 制定)</p> <p>尚綱学院大学における逸走動物捕獲措置マニュアル (2014.10.27 制定)</p> <p>館内見取り図 (『学生生活 Guide Book 2016 年度入学生用』付録)</p> <p>実験動物飼養保管状況報告書 (2017.3.9)</p> <p>2016 年度 動物実験施設管理報告 (2017.3.31)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内の飼養保管施設 (1 箇所: 動物実験室 (1-501 は前室、1-502 は動物実験室、1-503 は動物飼育室として使用) が把握されている。基本指針及び尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規に沿って、施設に実験動物管理者 (1 名) が置かれ、適切に管理されている。 ・動物実験室 (1-502) 出入口と動物飼育室 (1-503) の出入口に高さ 60cm のネズミ返しを設置されている (2014 年度設置)。 ・動物実験前室(1-501)の入口にドアの設置: 1 号館の 4 階から 5 階への階段を登った踊り場と動物実験室の前室 (1-501) の境にドアが設置されていなかったが、2016 年 9 月に設置工事が実施された。ドアの設置により、動物実験施設区域のクリーン度を維持するために動物実験施設区域と一般区域とを区切ることが可能となった。さらに、前室と動物実験室を区切るドアには鎧板 (格子) がつけられていたが、防塵フィルターを設置した。 ・動物実験室 (1-502) に以下の規程、手引、マニュアルなどが常備されている。 <ul style="list-style-type: none"> 尚綱学院大学動物実験等に関する規程 尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規 尚綱学院大学における動物実験実施ガイドライン 尚綱学院大学における動物実験施設利用の手引 尚綱学院大学における実験動物の飼育管理に伴う創傷、疾病の発生予防マニュアル 尚綱学院大学における逸走動物捕獲措置マニュアル ・動物実験室 (1-502) に動物に噛まれたことによるアナフィラキシーショックに対する注意喚起や緊急処置を要するときの対処方法が掲示されている。 ・動物実験室 (1-502) に救急箱が常設され、さらに設置場所が明示されている。 ・実験動物の種類と数等について、その記録は適切になされている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>記載すべき事項なし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験倫理委員会

（動物実験倫理委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 2016 年度 動物実験倫理委員会議事録（第 1 回、2 回）

※ 動物実験に関する自己点検・評価報告書（2015 年度）は動物実験倫理委員会委員長、動物実験施設管理者および事務局で原案を作成し、関連資料と共に動物実験倫理委員会委員に持ち回りで提示し、確認の上、承認を得た（持ち回り認証手続きの実施）。

- ・ 自己点検・評価報告書（2015 年度）の持ち回り認証手続きに関するメール
- ・ 持ち回り認証手続き及び内容に関する資料（メール、印刷物、報告書）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画の審査において、委員会の役割を規程に沿って適切に果たしている。

4) 改善の方針、達成予定時期

記載すべき事項なし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2016年度 動物実験倫理委員会議事録 (第1回、2回) 2017年度 動物実験倫理委員会議事録 (第1回) 動物実験計画書 (2016年4月1日提出) 008号 動物実験審査結果通知書 (008号) 動物実験結果報告書 (008号) 動物実験計画書 (2016年4月1日提出) 009号 動物実験計画変更承認申請書 (009号) 動物実験変更計画書 (009号変更計画) 動物実験終了報告書 (009号) (009号変更)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) すべての実験計画に関して適切な報告書が提出され、動物実験倫理委員会において審議されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 記載すべき事項なし。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 記載すべき事項なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2016年度尚絅学院大学動物実験倫理委員会議事録(第1回、2回) 2017年度尚絅学院大学動物実験倫理委員会議事録(第1回) 動物実験計画書(008号)、(009号)、(009号計画変更) 動物実験結果報告書(008号)、(009号)、(009号計画変更) 動物飼育室温湿度記録、実験動物飼養保管記録、動物飼育・実験室管理記録、動物実験実施記録、動物実験室入退室記録簿、ラット感染症検査成績
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・当該飼養保管施設で尚絅学院大学における動物実験実施ガイドライン、尚絅学院大学における動物実験施設利用の手引にもとづき実験動物管理者が管理している。 ・飼養保管施設の温湿度管理状況の記録をはじめ、動物実験ごとの実験動物飼養保管記録、動物実験実施記録も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物飼育室温湿度記録
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・動物飼育室温湿度記録により随時温度変化を観察し、必要に応じてエアコンの設定をマニュアルで変えている状況にあるが、概ね適切な温度管理が実現している。 ・2016年度にスチーム式加湿機が追加導入され、冬季の動物飼育室内の低湿度の状況に多少の改善がみられるが、依然、加湿状況が不足している。また、夏季の高湿度に対する対応がなされていない。

・動物実験管理区域と一般区域の境となる前室にドアが設置され、環境が大きく改善した。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・空調の問題については、今後も引き続き記録を蓄積し、状況をチェックする。
- ・2017年度に除湿器を導入する（2017年度予算）。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 (008号、009号、009号変更) 動物実験結果報告書 (008号、009号、009号変更) 動物実験教育訓練実施記録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書においてそれぞれの動物実験実施者 (責任者を含む) の教育訓練受講歴が明記されているほか、動物実験教育訓練実施記録には、訓練内容の資料、受講者についての詳細が適切に記録されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 必要な情報が、本学のホームページで公開されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
